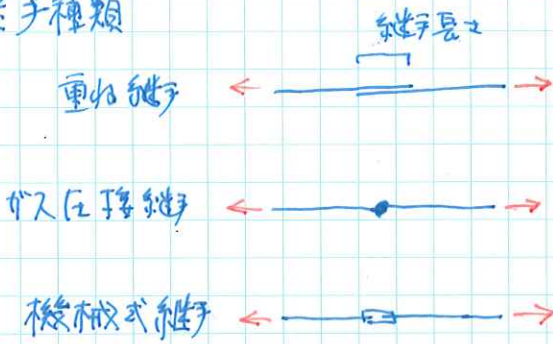


継手種類



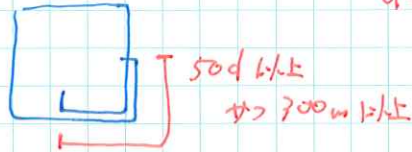
重ね継手長さ

コンクリート強度	SD295	SD395
24~27	35d	40d

径が異なる場合は 糸田1.0のd

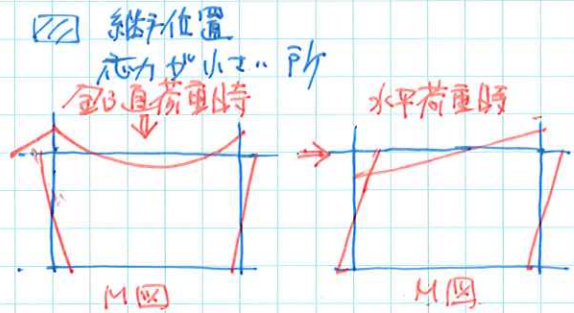
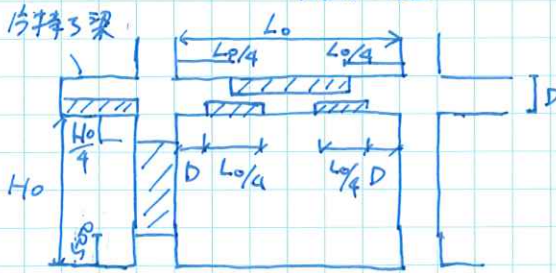
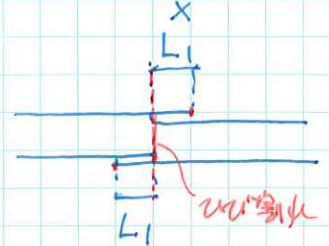
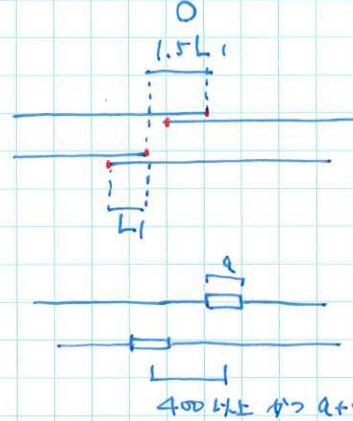
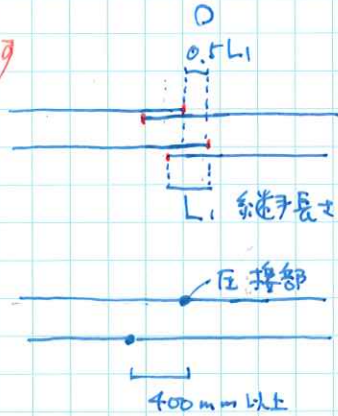
スリット筋の重ね継手長さ

d: 鉄筋の呼び名
に用いた数値



継手位置

がささ



種類の異なる鉄筋 1ランク差 まで圧接可能

(例) SD295とSD395

径の差 7mm以下 まで圧接可能 (自動ガス圧接は 径の異なる継手は不可)

不良圧接の補正

外観 ・ ぶくらみの直径: 径の1.4倍以下

・ ぶくらみの長さ: 径の1.1倍以下

再加熱(2修正)



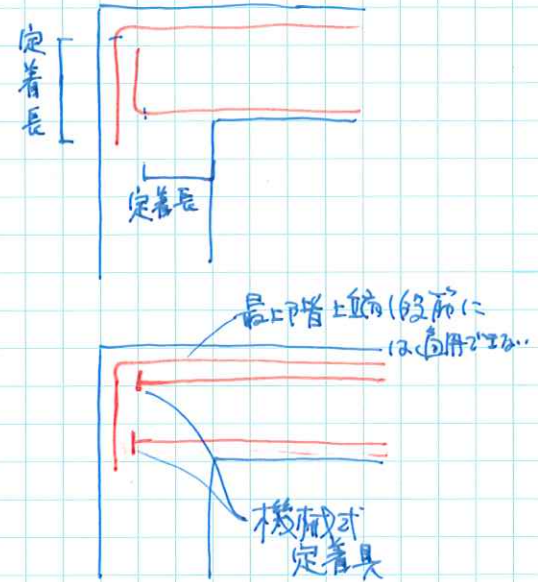
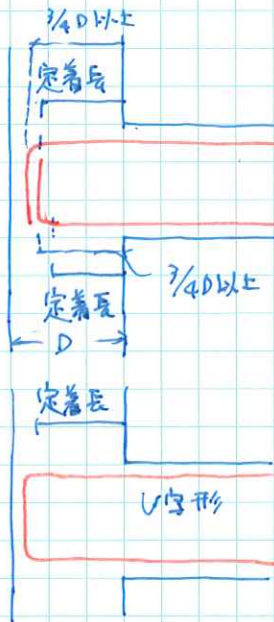
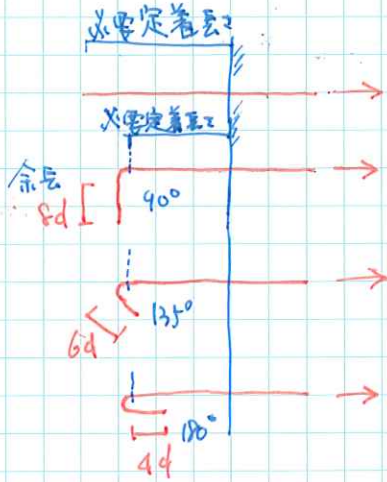
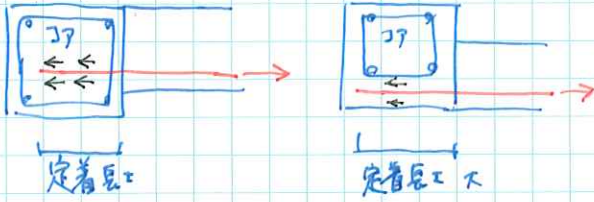
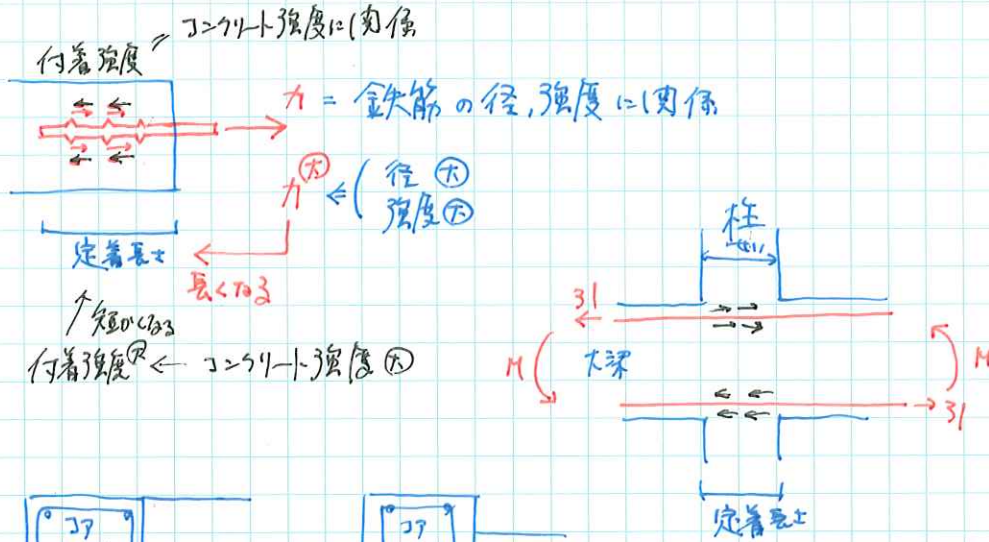
・ 中心軸の偏心量: 径の1/5以下

・ 圧接面のすべり: 径の1/4以下

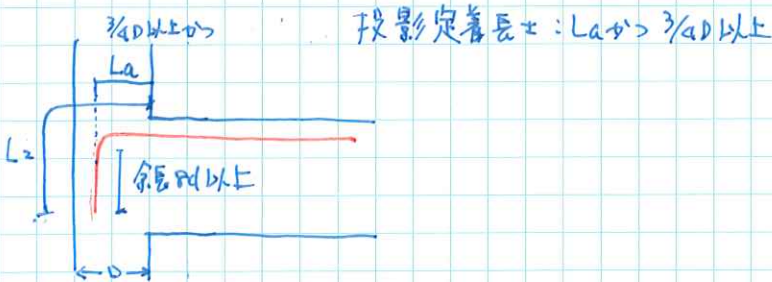
とり取り 2再圧接



定着



直線定着の場合



小梁、床スラブの下端筋の定着長さは $20d, 10d$ (か) $15d$